

静岡市清水区感染症発生動向

2015年 15週

集計期間 4/6-12

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱							1							1
溶連菌感染症					1	1	1	1		4	1	2		11
感染性胃腸炎		3	4	7	3	3	9	3	2	7	1	14		56
水痘						1		1				1		3
手足口病														
伝染性紅斑				1	3	1	2	2		2				11
突発性発疹		1	2		1									4
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu									1					1
小児科定点総数 87 増減 -8 前週比 91.6% 定点当たり 14.5 病院:開業医 3:84 増減 -1:-7														
内科Flu														
インフルエンザ総数 1 増減 -19 前週比 5% 定点当たり .1 小児科:内科 1:0 増減 -14:-5														

総数87、前週の91.6%と、減少です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比116%、定点当たり9.3と増加です。

感染性胃腸炎は、ロタの御報告もいただいています。

2位は、伝染性紅斑、前週比55%と、溶連菌感染症、前週比220%が、定点当たり1.8で、並んで入りました。

以下は、定点当たり1未満ですが、突発性発疹4名、水痘3名、咽頭結膜熱1名報告です。インフルエンザ、1名になりました。

対象疾患外ですが、hMPVは、相変わらず出ています。

内科も含むインフルエンザ前週比5%と、ほぼ終息、

小児科の1定点から、B型1名のみ報告で、内科は、0になりました。

前週20名で、翌週1名は、珍しく、急速に終息しました。

胃腸炎、伝染性紅斑、溶連菌感染症に注意が必要な状況です。